

令和6年度事業計画書

特定非営利活動法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会

1 事業実施の方針

本県農山漁村を取り巻く諸問題に柔軟に対応し、グリーン・ツーリズム活動による持続可能な交流機会を創出する。「対話」と「交流」を中心に会員や行政と連携し、必要に応じた広域連携手法を取り入れながら、その担い手の育成支援や環境整備などの諸活動を推進する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)予定人数	事業費の予算額 (単位：円)
グリーン・ツーリズム活動を通じた農山漁村地域の活性化に資する事業	①グリーン・ツーリズム花まるっ大学の開催を通じたグリーン・ツーリズムの指導・普及	グリーン・ツーリズム花まるっ大学：4回 グリーン・ツーリズムサロン～秋田花まるっフラワーツーリズム2024～：2回(初夏と秋冬) グリーン・ツーリズムサロン～秋田花まるっお米を楽しく食べる旅紀行2024～：3回 (A)通年 (B)全県域 (C)14人	(D)一般県民 (E)50人	1,904,700
	②グリーン・ツーリズム体験講座(ここから秋田)の開催とサークル活動への支援	(A)月1回(5月～翌年3月) (B)全県域 (C)10人	(D)関心のある県民 (E)50人	80,000
	③ホームページ・SNS・メディアによる情報発信の強化	(A)通年 (B)インターネット上 (C)2人	(D)一般県民 (E)不特定多数	260,000
	④活動応援ボランティア受入支援	(A)通年 (B)全県域 (C)3人	(D)関心のある県民 (E)不特定多数	100,000
	⑤県からの受託事業	(A)5～3月 (B)全県域 (C)3人	(D)関心のある県民 (E)不特定多数	5,910,000
アグリビジネス起業支援に関する事業	①教育旅行への受入対応	(A)通年 (B)全県域 (C)2人	(D)関心のある県民 (E)不特定多数	80,000
	②広域での教育旅行受入についての検討	(A)通年 (B)全県域 (C)2人	(D)関心のある県民 (E)不特定多数	

	③販促用資材作成支援・請負	(A)通年 (B)全県域 (C)2人	(D)関心のある県民 (E)不特定多数	50,000
助言・政策提言に関する事業	①関連事業への助言・提案	(A)通年 (B)県内 (C)3人	(D)一般県民 (E)不特定多数	211,000
その他目的を達成するための事業	①会員倍増推進事業	(A)通年 (B)全県域 (C)3人	(D)会員 (E)143会員	130,000
	②あきた産デーフェアの開催	(A)年6回(5月～10月) (B)秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」 (C)3人	(D)一般県民 (E)不特定多数	497,600
事業費の予算額合計				9,223,300

<令和6年4月3日現在 会員数>

正会員 101会員

グリーン・ツーリズムの受入に取り組む個人・団体・・・85

民宿・レストラン	60
体験受入	8
地域協議会	11
直売所	6

グリーン・ツーリズムの推進を支援する団体・・・・・・ 2

市町村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

賛助会員 42会員

法人・団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

個人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

合計 143会員

【事業内容の説明】

<グリーン・ツーリズム活動を通じた農山漁村地域の活性化に資する事業>

①グリーン・ツーリズム花まるっ大学を通じたグリーン・ツーリズムの指導・普及

・グリーン・ツーリズム花まるっ大学

「見る」・「聞く」・「話す」・「体験する」を基本に、県内実践者が講師となった起業と仲間づくりの研修を行う。

回数：4回（テーマ：農家民宿、農家レストラン、体験、関連内容）

新規入会者は、1回以上受講してもらう。

・個別指導：随時。事業承継プロジェクトも個別指導で対応する。

- ・グリーン・ツーリズムサロン～秋田花まるっフラワーツーリズム2024～

初夏と秋冬で2回、花をメインにしている会員をリレー方式でつなぐ体験講座を実施。

- ・グリーン・ツーリズムサロン～秋田花まるっお米を楽しく食べる旅紀行2024～

テーマを「米」にし、飾り巻きずし、きりたんぼ、笹巻などの体験を提供している会員をリレー方式でつなぐ体験講座を実施。

②グリーン・ツーリズム体験講座（ここから秋田）の開設

- ・「ここから秋田」の定期開催

月1回程度、会員自らの企画・主催による体験講座を継続して実施する。

新規企画を開拓する。

実施にあたり、下記のとおり手数料を設定する。

手数料：参加費の10%・・・企画への助言・チラシ作成とDM発行・参加者取りまとめ・傷害保険の適用

参加費の5%・・・チラシ作成とDM発行・傷害保険の適用

定番化した企画は、随時サークル化し、活動支援を行う。

③ホームページ・SNS・メディアによる情報発信の強化

- ・レンタルサーバーの設置。

ホームページ「美の国秋田・桃源郷をゆく」の管理・運営

- ・SNSの運用

ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ラインで情報発信を行う。

X（旧ツイッター）：@akita_gt

フェイスブック：秋田花まるっG・T推進協議会

インスタグラム：akita_gt

ライン：@010yaush

- ・通信販売サイトの強化

- ・メディア各社へ随時情報提供を行い、取材につながるよう働きかける。

④活動応援ボランティア受入支援

会員が、自身の活動及び関係機関からの依頼で学生等のボランティアを受け入れた際に、依頼に応じボランティア内容の確認を行った上で、ボランティア活動証明書を発行する支援を行う。

また、有償ボランティアの実施について会員の要望を聞き取りし、要望があれば取り組む。

<アグリビジネス起業支援に関する事業>

①教育旅行への受入対応

安全講習の開催支援:各地域協議会単位で開催してもらうことを基本とし、未受講をなくすために、受講を呼びかける。協議会は、秋田県と連携し、受講内容の確認をし、質の向上を目指す。

学校・旅行会社向け説明資料の管理と更新:Web 上に設置している資料の適切な管理と内容を適宜更新する。

②広域での教育旅行受入についての検討

教育旅行の受入を継続するため、広域での受入体制を整える必要があることから、関係する地域協議会と協議し、方法について検討する。

③販促用資材作成支援・請負

農産物や加工品の直販を行う際、会員の要望に応じて販促用資材（例:FAX 注文書付きのチラシ、EC サイトへの掲載支援など）の作成相談と要望に応じて製作を請け負う。

<助言・提言に関する事業>

①各種会合への出席

<その他、目的を達成するための事業>

①会員倍増推進事業

賛助会員の入会を増やすため、各イベント等での入会促進を図るとともに、入会特典の充実を図る。

②あきた産デーフェアの開催（あきた産デーフェア出展者協議会との共同事業）

秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」で開催されている「あきた産デーフェア」（主催：あきた産デーフェア出展者協議会（会長：斎藤洋晃（合同会社農園晴晴）・会員数20団体、共催：秋田県（担当：農林水産部農業経済課）の運営支援する。

開催日：5月～10月の間に計6日間（5月18日（土）、6月15日（土）、7月20日（土）、9月21日（土）、10月5日（土）～6日（日））

開催場所：秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」

業務内容：【県】「あきた産デーフェア」の円滑な開催、当日の見守り

【あきた産デーフェア出展者協議会】

- ・年会費（10,000円）、出展料（1回2,150円）の徴収と会計、開催に向けた事務手続き（出展の確認、道路等許可手続き、場所決め等）、総会の開催

※本協議会としてあきた産デーフェア出展者協議会に加入する（その場合、出展料は出展を希望する会員の負担とする。）。